

Next Innovation.

香川大学発 研究シーズ活用レポート

Kagawa Univ. Case Study No.
KAGAWA UNIVERSITY
08



香川大学副学長(産官学連携・特命担当) 城下 悦夫

さまざまな取り組みが始まっています! 香川大学のオープンイノベーションプラットフォーム

金融と事業創出のエキスパートが産官学連携を担当

香川大学の産官学連携統括本部の本部
長として、また、イノベーションデザイン研究
所の統括マネージャーとして、民間企業と行政
と大学を三方よし精神でつなげるのが、香
川大学の城下副学長です。香川大学経済
学部を卒業後、日本の証券会社を皮切りに、
国内外の金融機関でディーラーやファン
ドマネージャーなどを担当し、ベンチャーキャピ
タルでは数々のスタートアップ企業の成長に



関わってきました。活躍のフィールドも東京、
シティ(英)、ウォール街(米)、そして四国の
ローカルまで。大学人としては異例の経歴の
持ち主です。そんな城下学長が香川大学を
見ると、「そこには宝の山がある」と話します。
「世界の投資家達はリスクをしっかりと見極
めて、様々な投資機会に積極的に、しかも、
時間をかけて分散投資を行います。
また、海外の有力大学基金も同様に大学の研
究シーズや卒業生の起業した会社に、ベン
チャーキャピタル会社を通じて投資を行い、その
成果を大学に還元できるエコシステムが構築さ
れています。成長に加え、サステナブルなビジネ
スを重視するという流れは、その後ESG(環境・
社会・ガバナンス)投資につながっています。そ
して香川大学には創立後の70年間でさまざま
な研究シーズの蓄積があります。ESGという視



イノベーションデザイン研究所がつなく社会

点で見ても、具体的なビジネスとして地域社会
への還元につながるものも数多くあります。
また、大学という、ある意味「色のついていな
い」中立な立場だから成立可能な連携という
ものもあります。例えば、2つの異なる事業が、
諸事情で直接つながるのが難しいという場合
も、香川大学がプロジェクトを立ち上げるこ
とで、これら2つの事業の参画機会が得られ、よ
り大きなストラクチャーが描ける、ということも
出てまいります。

四国内外の企業とともに、 5年先の地域を見つめて

香川大学がビジネスの結節点(ハブ)のよ
うな役割を担い、環境、農業、教育、医療、防
災、観光、福祉など幅広い地域課題に貢
献することが期待できると話す城下副学
長。いま、大学ではどのような連携が始まっ
ているのでしょうか?

「現在数多くの地域の企業や、グローバル
に展開する企業との連携事業が進行して
います。(株)リコー様やあいおいニッセイ同和
損害保険(株)様との共同研究事業について
は、今年2月に香川大学イノベーションデザ



イノベーションデザイン研究所は、
組織と組織の連携を強化します。

《研究シーズ活用のご相談は》
香川大学 産学連携・知的財産センター

〒760-8521 香川県高松市幸町1-1
TEL.087-832-1672(代) FAX.087-832-1673



本学研究者の研究成果は、HPより確認できます。
<https://www.kagawa-u.ac.jp/ccip/>

イン研究所のシンポジウムでその概要を
発表をいたしました。企業との連携だけでは
なく、徳島大学、阿南高専、香川高専とト
モニホールディング様との連携事業など、そ
れぞれの得意分野や地域性を生かしながら
の、より大きな連携事業への発展にも期
待しています。「県内外間連携でのメリッ
トは、県外目線で香川を見るという「お
かめ八目」的な視点を得られることです。
そこには地域が思いもよらなかったケミ
ストリーが生まれる素地があります。香
川大学には研究者の専門領域の

深さ、優秀な学生のアイデアがあります。
熱い思いを持つ誰もが参画できるオー
プンイノベーションのプレイクスルー
フィールドを創るのが私たちの役目。多
様性を持ちつつも学部の枠を超えて文
理融合できるのが香川大学の強み
です。実践的な研究プロジェクトを通
じて学生が成長し、その卒業生達が
地元で活躍するのが最大の地域貢
献かもしれないと城下副学長。「5
年、10年先の香川が楽しみになる
、そんな地域連携をこれからも進
めていきます」と抱負を語りました。

イノベーションデザイン研究所の「今」研究の一部をご紹介します!



リコージャパン(株)香川支社支社長 平井 直樹氏による研究概要発表

ゲーミフィケーションを用いたシステム設計により、観光中に撮影された
写真から画像認識を用いて写真を置き換えた観光ガイドブックを生
成し、プリンタを用いて印刷するシステム(KadaPam)の開発を行って
います。



あいおいニッセイ同和損害保険(株)商品企画部 堀越 洋平氏による研究概要発表

防災および医療などの知見を活かしながら、MaaSの構築・展開の研
究およびそれらの過程で生じ得る課題解決に関連した香川大学での
研究を踏まえ、大学と協働しながら、「MaaSに伴う保険のあり方」につ
いて研究を行っています。

お知らせ 城下副学長の講演決定!

産官学連携と オープンイノベーション

～地域から求められる大学を目指して～

コロナショックの激変期、新事業創出に向けた次世代ビジネスモデルの構
築を目指し開催される四国生産性本部様主催の「2020年度事業開発研
究会」。この第2回目に城下副学長が講師として登壇します。詳しくは四
国生産性本部ホームページをご覧ください。

日時 2020年
11月17日(火) 13:30~16:30

お問い合わせ先

四国生産性本部「事業開発研究会」係
TEL:087-887-6404 MAIL:consul@spc21.jp